

令和4年度

# 奄美群島の概況



鹿児島県大島支庁



## ◇表紙写真◇

### 「宮古崎トンネル開通」

奄美市名瀬根瀬部から大和村国直までを結ぶ県道名瀬瀬戸内線「宮古崎トンネル」（延長2316m）が開通しました。

同路線区間は、急カーブを含んだ急峻な峠道で、集中豪雨や台風の影響で通行規制が発生するなど、交通の隘路となっていました。

開通に伴い、距離にして約2.3km、時間にして約5分が短縮されることとなりました。地域住民の利便性は向上し、災害に強い安全・安心な交通流通が確保されるとともに、更なる観光振興や地域発展が期待されています。

（写真（上）：令和4年3月27日 宮古崎トンネル開通式典）

### 「奄美大島世界遺産センターオープン」

令和3年7月の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（奄美・沖縄）の世界自然遺産登録を受け、令和4年7月に「奄美大島世界遺産センター」が開館しました。

施設では、奄美大島の森とそこに棲む生き物を実際にフィールドを歩いているように体感・観察したり、奄美大島の自然を守るための取組やルールを学んだりすることができ、奄美大島の自然環境や保全活動の情報発信拠点として期待されています。

（写真（左下）：令和4年7月26日 奄美大島世界遺産センターオープン記念式典）

### 「テッポウユリ『咲八姫』」

令和4年度の最も優れた花きの新品種を選ぶコンテスト「ジャパンフラワーセレクション（JFS）」の切花部門で、県育成品種のテッポウユリ『咲八姫（さくやひめ）』がフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）を受賞しました。

現在、沖永良部島において、栽培実証に取り組んでいるところであり、今後、「えらぶの花」全体を牽引していくトップランナーの品種として期待されています。

（写真（右下）：令和4年12月受賞）

# は し が き

ここに令和4年度版「奄美群島の概況」を刊行します。

本書は、奄美群島振興開発事業の成果のほか、奄美群島の自然、行政、産業経済、教育及び文化などの各般にわたる統計資料等を総括的に集録し、現況と推移を明らかにしたものであります。行政運営、経済施策の樹立、学術研究及び諸計画立案の基礎資料として御活用いただければ幸いです。

本書の刊行に当たり、貴重な資料を提供いただきました関係機関並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

鹿児島県大島支庁長

新川 康枝